

明治丸海事ミュージアム事業募金 のお願いについて

国立大学法人東京海洋大学学長 松山優治

❖明治丸の活躍について

東京海洋大学越中島キャンパスには、日本の近代史に輝かしい足跡を残す国の重要文化財「明治丸」が保存されています。明治丸は、1874（明治7）年に英国グラスゴーのネピア造船所で灯台巡視船として建造され、明治天皇の御座乗船としても使用されました。

明治天皇が明治丸で奥羽・北海道巡幸の帰途、横浜港に安着された7月20日にちなんで、1941年に「海の記念日」が制定され、1996年からは祝日「海の日」となっています。明治丸は、1875（明治8）年に小笠原諸島の領有権問題が生じたときに、英国の軍艦より2日早く小笠原の父島に日本政府調査団を運び、小笠原諸島領有の基礎を固める役割を果たしました。明治丸の活躍により、小笠原諸島はその後わが国の領土になり、今日、日本が世界第6位の排他的経済水域（EEZ）を確保する礎となっています。

1896（明治29）年に明治丸は高等商船学校に譲渡され、係留練習船として多くの海の若人を育成しました。現在、明治丸は本学に引き継がれています。

❖明治丸海事ミュージアム事業募金について

明治丸は、1978（昭和53）年、わが国に現存する唯一の鉄船で造船技術史上も貴重な存在として国の重要文化財に指定され、保存修理工事が行われましたが、再び大規模な修復が必要な状態となっています。

東京海洋大学では、明治丸の保存修理工事とともに、海運・造船等の海事産業への理解の促進と、青少年の海事意識の啓発、そして海事文化の拠点形成を図るため、「明治丸海事ミュージアム事業」を立ち上げることとしました。

しかし、明治丸の修復・整備を行うためには、多くの資金が必要です。

東京海洋大学では、明治丸海事ミュージアム事業募金委員会を設置し、海事関連企業や関係団体を中心とした募金活動を行っています。

❖楽水会会員の皆様へ

本事業は、新たな海洋立国を目指す「海洋基本法」の理念に合致し、海を目指す若者の育成にも資するものと確信しております。つきましては楽水会会員の皆様よりご支援を賜りますよう、切にお願い申し上げます。

募金に関する問い合わせ先：東京海洋大学 明治丸海事ミュージアム事業募金事務局

住所：〒108-8477 東京都港区港南 4-5-7

電話：03-5386-6198 FAX：03-5463-0359

明治丸に関する問い合わせ先：東京海洋大学明治丸海事ミュージアム事務室

電話：03-5245-7360